

平成25年度 公益財団法人宮崎文化振興協会 実績報告書

(1) 事務局経営戦略課

1 指定管理者公募への取り組み

(1) 指定管理者指定について

平成25年度が指定管理の最終年度であったことから、申請書作成やプレゼン等について、経営戦略課と各館が連携して対応し、現状管理している全施設の次期指定管理者に指定された。

25年 8月	指定管理施設の募集要項 申請受付開始
9～10月	申請締め切り、担当部局で書類審査、プレゼン審査
10月	指定管理候補者の決定
12月	新指定管理者が議会で承認
26年 4月 1日	指定管理開始

(2) 公益財団法人宮崎文化振興協会モニターの設置

利用者の意見を協会の事業に反映させるため、1市2町の住民を対象に公募でモニターを募集し、アンケート協力や協会への提言等、協会運営への意見をいただいた。7月に意見交換会を実施し各施設の改善に生かした点等を報告した。

モニター人数	9人	意見交換会	1回
--------	----	-------	----

2 更なる公益目的事業の推進

(1) 学習目的での施設利用の推進（新規）

各館の指導主事や学芸員、学習指導員を中心に、学習指導要領に基づく対応検討会を設置し、小中学校が各館を学習でより一層活用できるよう、ワークシートを作成した。さらに、学習目的での利用促進を図るためバスを借り上げ、利用促進を図った。

利用小中学校	8校	バス利用台数	19台
--------	----	--------	-----

(2) 出前授業・講座の実施（新規）

各施設が、地域における教育文化施設として認識され、地域とのつながりや地域活性化に貢献することを目的に、出前事業を実施した。

実施プログラム	5プログラム	実施小中学校	27校
---------	--------	--------	-----

(3) 子どものための音楽会の開催（新規）

各館の平日の入館者増加対策と協会の社会貢献を目的に、各施設で、乳幼児とその保護者を対象としたロビーコンサートを開催した。

実施回数	6回	参加者数	延べ 602人
------	----	------	---------

(4) どっぷり体験合宿の実施

当協会が管理運営する施設及び生目の杜遊古館における宿泊体験活動を通じて、児童の科学的な理解や創造性を深め、郷土を愛する心を培うことを目的として、様々な科学、歴史、芸術文化分野の体験活動を実施した。

実施回数 2回 参加者数 延べ 43人

3 協会経営の自主性、自立性の確保

(1) 各種研修制度の実施

職員の資質向上のため、協会全体の年間研修計画を作成し研修を実施した。

協会全職員研修、法規研修、コミュニケーション研修等を実施した。

研修回数 13回 延べ参加職員数 234人

(2) 研究事業の実施

協会職員が、指定管理者の業務達成に貢献できると認められる研究について、職員にその費用の一部又は全部を補助し実施した。

また、平成26年3月4日（火）に研究事業成果発表会を開催した。

研究数 22本 研究した職員数 36人

4 広報活動について

(1) 宮崎文化振興協会レターの発行

当協会の日頃の事業成果について、役員等の協会関係者にタイムラグなくお伝えするために、毎月発行した。

発行回数 12回

(2) 広報連絡会の開催

協会全体の広報について、様々な情報の集約、共有化を図り、既存の広報形式にとらわれない新たな広報について検討を行うことにより、協会の広報内容の充実を図ることを目的として開催した。

実施回数 7回

(3) 協会機関誌「まなぶんか」の発行（新規）

単なるイベントの開催日時の紹介だけでなく、イベントの目的や開催するに至った経緯等を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を年4回発刊し、友の会、県内小・中学校、入館者等に配布した。

A4版8ページ、カラー印刷、季刊で各5,000部（年4回）

(2) 宮崎科学技術館

1 入館者数

- 総入館者数 138,459人 (大人65,054人、 小人73,405人)
内 訳 一般・団体 56,775人 広域圏児童生徒 12,754人
※有料 ※無料(遠足等で利用の1市2町の児童生徒)
- その他 68,930人
※無料(行政視察、障がい者、介護者、友の会、減免引率、無料開放など)
- 開館日数 308日
- 一日平均利用者 450人

2 常設展示事業

アポロ11号月面着陸船原寸大模型をはじめとした大型の展示物の他、先端科学技術を集約した展示物は約100点にのぼる。来館者が体験を通して科学の不思議や自然の素晴らしさに気付くことに努め、科学に対する興味・関心を深めさせることができた。

また、展示物についてはコストを抑えた更新や修繕を行うなど、最大限の効果的活用を努めた。

3 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

子どもたちに「科学の芽」を育てるためのサイエンス教室や、高齢者と一般の人を対象にした「生きがい科学館」、子どもから大人まで楽しめるサイエンスショーや工作教室などを、JSCや宮崎大学のボランティア学生とともに実施した。

① チャレンジサイエンス	実施回数	30回	参加者	延べ	4,933人
② ダ・ヴィンチ工房	実施回数	6回	参加者	延べ	146人
③ 生きがい科学館	実施回数	8回	参加者	延べ	89人
④ 不思議なサイエンスショー	実施回数	10回	参加者	延べ	1,060人
⑤ 宮崎少年少女発明クラブ	実施回数	20回	参加者	延べ	598人
⑥ ロボットクラブ(前期・後期)	実施回数	20回	参加者	延べ	713人
⑦ どろだんご教室	実施回数	2回	参加者	延べ	158人
⑧ 科学技術週間工作教室	実施回数	2回	参加者	延べ	207人
⑨ 自由研究サポート教室	実施回数	3回	参加者	延べ	17人
⑩ インストラクターなんでもサイエンスショー	実施回数	20回	参加者	延べ	1,383人
⑪ コスモランド教室	実施回数	11回	参加者	延べ	2,280人
⑫ 水ロケット教室	実施回数	1回	参加者		60人

(2) パソコン講座

パソコンについての基礎的な技能を習得するとともに、パソコンに対する興味・関心を高める場として、小学生から高齢者までの幅広い人を対象に開催した。

① パソコン入門講座	実施回数	5回	参加者	延べ	538人
② 続パソコン入門講座	実施回数	4回	参加者	延べ	157人
③ ワード講座	実施回数	5回	参加者	延べ	528人
④ 続ワード講座	実施回数	4回	参加者	延べ	163人

⑤	エクセル講座	実施回数	5回	参加者	延べ	515人
⑥	続エクセル講座	実施回数	5回	参加者	延べ	202人
⑦	ワード応用講座	実施回数	2回	参加者	延べ	197人
⑧	エクセル応用講座	実施回数	2回	参加者	延べ	195人
⑨	ハガキ作成講座	実施回数	5回	参加者	延べ	148人
⑩	デジカメ講座	実施回数	4回	参加者	延べ	108人
⑪	パワーポイント講座	実施回数	3回	参加者	延べ	184人
⑫	インターネット・メール講座	実施回数	2回	参加者	延べ	62人
⑬	すいすいパソコン	実施回数	35回	参加者	延べ	1,369人
⑭	友の会パソコン講座	実施回数	24回	参加者	延べ	305人
⑮	モラル研修	実施回数	7回	参加者	延べ	88人

4 プラネタリウム事業

3万8千個の星々を映し出す恒星投映機や全天ビデオ投映システムを生かし、一般番組や学習番組等を投映し、月刊情報誌等広報活動も繰り広げながらサービスの向上に努めた。

入場者数 58,550人(※一般番組・学習番組の観覧者)
 投映回数 1,100回

(1) 一般番組

- ・永久投映権をもっている番組
 「土星探査機 カッシーニ」「星になったチロ」「オズのまほうつかい」「ユニバース」
 「むしむし星空大行進」「今夜銀河の片隅で」
- ・24年度から引き続き投映した番組
 「ポケットモンスター」「シーモンスター」「アースストーリー」
- ・25年度から投映した新番組
 「名探偵コナン」「Goodnight Goldilocks」「アイスエイジ」「One Piece The Planetarium」
 「コブクロ～流れ星に願いを」

(2) 学習番組

- 「ピーターパンとほしのくにへいこう」(幼児向け)
- 「宇宙探偵 ロッケンハイム」「スタジオ444」(小学生向け)
- 「忍法学習帳 星見の術でござる」(中学生向け)

(3) 自主製作番組

- 「ひむか神話～太陽の女神・アマテラス」

(4) 星空教室

プラネタリウムホールを利用して、幼児から一般を対象に、季節の星座や神話、天文の基礎を紹介し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらおうよう努めた。

実施回数 10回 参加者 延べ 448人

(5) 市民天体大観望会

宮崎市のサンビーチ葉にて星空の観望会を開催した。望遠鏡の基礎的な知識を深めるとともに、天体や宇宙に興味をもってもらうよう努めた。

実施回数 1回 参加者 165人

(6) スターウォッチング教室

宮崎市・周辺2町在住の団体を対象に、応募団体の希望の場所へ出向き、天体の基礎的な学習と実際の天体観察を望遠鏡などを使用して体験してもらうことで、天体や宇宙に興味・関心をもってもらうよう努めた。

実施回数 6回 参加者 延べ 703人

(7) スターウォッチング教室 in まちなか(新規)

中心市街地の活性化及び広報の場として、「スターウォッチング教室」を市街地(カーリーノ前Tテラス、宮崎駅西口交番前広場)で実施した。

実施回数 2回 参加者 延べ 155人

5 文化振興事業

(1) 星空と音楽の夕べ

宮崎出身者や現在宮崎で活躍している音楽家の活動の場を提供するとともに、市民文化活動高揚に資するため、プラネタリウムホールで開催した。音楽の生演奏と星の解説、そしてCD音楽の解説という3部構成でのコンサートを実施した。

実施回数 3回 参加者 延べ 373人

(2) キラキラ星空コンサート

プラネタリウムでの音楽鑑賞をより気軽に楽しんでもらおうと、平成18年度からスタートしたコンサートであり、県内で活躍されている演奏家によるコンサートを実施し、幼児から高齢者までの幅広い年齢層の人に楽しんでもらった。

実施回数 2回 参加者 延べ 387人

(3) サウンド in プラネタリウム

宮崎市及び周辺2町の児童生徒へ文化的な活動の場を提供するとともに、プラネタリウムホールの有効活用を目的として、幼保育園・小・中学校7校の合唱発表会を実施した。全天映像による演出が大変好評であった。

実施回数 4回 参加者 延べ 487人

(4) 癒しのプラネタリウム

プラネタリウムホールの有効活用を目的として、一般(20歳未満は除く)を対象に、星空やヒーリング番組の放映・音楽鑑賞を通して、癒しの効果を体感してもらうように努めた。また、今年度より字幕投映にて星空の解説を始めたが大変好評であった。

実施回数 2回 参加者 延べ 81人

(5) イブニングプラネタリウム(新規)

宮崎科学技術館入館者累計400万人達成に伴い、市民への感謝の気持ちを込めて多くの市民がプラネタリウムをさらに利用しやすい環境整備を目的として星空の生解説及び宮崎にゆかりのある人物「コブクロ」の楽曲をつかった番組投映を行った。

実施回数 13回 参加者 延べ 464人

(6) 癒し&イブニングプラネタリウム(新規)

癒しのプラネタリウムとイブニングプラネタリウムのコラボレーション企画で星空の生解説と番組「コブクロ」の投映を行った。

実施回数 4回 参加者 延べ 244人

(7) スターフェスティバル

多目的ホールを利用して、来館者を対象に、プラネタリウムに関するパネルやレンズ、望遠鏡等を展示し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらおうよう努めた。

また、プラネタリウムのバックヤードツアーなどを開催し、さらに詳しくプラネタリウムに関し子どもたちにも興味を持ってもらう良いきっかけとなった。

実施回数 1回(10日間) 参加者 延べ 443人

(8) 絵本の読み聞かせ in プラネタリウム

プラネタリウムホールの有効活用を目的として、幼児から一般を対象に、ドームスクリーンを利用した大型絵本の読み聞かせや映像による演出を通して、プラネタリウムホールを幅広く体感してもらおうように努めた。

実施回数 11回 参加者 延べ 1,152人

(9) ワクワク♪ワイワイ♪プラネタリウム

幅広い世代のプラネタリウム利用拡大を目的として、通常暗いプラネタリウムホールを明るくし子ども向けの星空の解説を行った。

実施回数 10回 参加者 延べ 423人

6 主なイベント・事業

(1) 主催事業

①宇宙食展

JAXA提供のデータを使用し、宇宙食の歴史や宇宙での食事の様子などを写真で紹介した。また、宇宙で食べたいものを自由に描いてもらうワークショップや、食べてみたい宇宙食の投票を行った。また、最終日にはじゃんけん大会を行い、優勝者に景品として宇宙食をプレゼントした。

開催期日 平成25年4月2日(火)～4月7日(日)

入場者数 子ども 480人 大人 322人 延べ 802人

②こいのぼり泳がせ式

近隣の幼稚園・保育園を招き、正面玄関前でこいのぼり泳がせ式を行った。また、招待した園児には手作りのこいのぼりをプレゼントした。

開催期日 平成25年4月12日(金)
入場者数 子ども 66人 大人 10人 76人

③「科学と遊ぼう！こどもの日」

全館を無料開放し、こどもの日にちなんだ多彩な催しを実施した。

開催期日 平成25年5月5日(日)
入場者数 7,485人

④地球を守ろう環境展(第4回)

地球環境問題やリサイクルなどについての興味・関心を高めてもらうために、パネルなどの展示や実験・工作教室を行った。

開催期日 平成25年5月10日(金)～5月26日(日)
入場者数 子ども 476人 大人 275人 延べ 751人

⑤鶴松館20周年記念サテライト会場

鶴松館の説明や行事紹介を行うとともに、佐土原歴史資料館の説明や収蔵品紹介も行った。ワークショップでは子どもにお城の絵を描いてもらった。

開催期日 平成25年5月29日(水)～6月8日(土)
入場者数 子ども 161人 大人 135人 延べ 296人

⑥「感謝のつどい 七夕まつり」

全館を無料開放し、七夕にちなんだ多彩な催しを実施した。

開催期日 平成25年7月7日(日)
入場者数 2,617人

⑦南極の氷譲渡式&サイエンスショーおよび関連パネル展

南極にまつわるパネル展示や、自衛隊からの南極の氷贈呈式・南極の氷を使った実験を実施した。

開催期日 パネル展 平成25年7月10日(水)～7月19日(金)
譲渡式 平成25年7月15日(月)
入場者数 パネル展 子ども 512人 大人 580人 延べ 1,092人
譲渡式 子ども 29人 大人 30人 延べ 59人

⑧なるほど！なっとく！人体の科学

人間の体の仕組みや心臓と肺の役割を深めてもらうために、県立日南病院医学体験学習実行委員会などの協力を得ながら、体験学習を実施した。

開催期日 平成25年7月21日(日)
入場者数 子ども 133人 大人 150人 283人

⑨WRO Japan 2013宮崎大会

子どもたちが市販のキットで自律型ロボットを製作し、そのロボットを使って競技会を実施した。ロボットを制御するコンピュータのプログラムも子どもたちに開発させた。地方大会として小・中・高の3部門を実施し、それぞれの部門の代表チームが国内決勝大会(東京)に出場した。

開催期日 平成25年7月31日(水)
入場者数 子ども 154人 大人 202人 356人

⑩教員のための博物館の日(新規)

教職員に向けて、科学館等が学習に役立つことを理解してもらうとともに、よりよい利用方法について周知し、学習目的の利用を促進するために、講演会や体験ブースの出展を行った。

開催期日 平成25年8月2日(金)～3日(土)
入場者数 延べ 146人

⑪青少年のための科学の祭典2013・宮崎大会

小中学校・高校の理科教諭、大学関係者と連携し、科学や科学技術の不思議さや楽しさを身近に体験できる実験ブースの出展をし、科学の面白さを実感してもらうとともに、科学および科学技術に対する関心を高める活動を実施した。

開催期日 平成25年8月9日(金)～11日(日)
入場者数 子ども 3,969人 大人 5,669人 延べ 9,638人

⑫第20回宇宙画作品展

児童・生徒の創造性の育成を図り、宇宙及び宇宙開発に関する興味・関心を高めるため、宇宙をテーマにした絵画作品を展示した。また、9月7日(土)には、絵画作品入賞者を中心とした小・中学生を対象に、宇宙に関する宇宙教室(国立天文台職員による講演会)を開催して、その後、表彰式を実施した。

開催期日 平成25年8月24日(土)～9月8日(日)
入場者数 子ども 826人 大人 724人 延べ 1,550人

⑬イプシロンパブリックビューイング

世界初となるモバイル管制のロケット(イプシロン)打ち上げライブ中継を開催した。日本が世界に誇る宇宙研究の一つである“ロケット”およびその“発射技術”の仕組みを学び、実際の打ち上げシーンをリアルタイムで見ることで宇宙に興味を持つ契機となるよう努めた。

開催期日 平成25年8月27日(火) 1回目(打ち上げ延期)
平成25年9月14日(土) 2回目(打ち上げ成功)
入場者数 子ども 142人 大人 180人 延べ 322人

⑭JSCフェスティバル&科学技術館シルバーdays

敬老の日になみ、65歳以上の方と同行された家族を対象に、全館無料開放を実施した。

開催期日 平成25年9月14日(土)～9月16日(月)
入場者数 子ども 1,197人 大人 1,127人 延べ 2,324人

⑮入館者400万人達成記念イベント(新規)

開館からの入場者が400万人になったことを記念してイベントを行った。9月28日に400万人目の来館者を迎えたので、式典を行った。その後、10月18日にイブニングプラネタリウムオープニングアクトとして宮崎出身の歌手 井手綾香さんのコンサート、19日に4人の子

どもたちによる1日館長、20日には JAXA からシニアフェローの川口純一郎氏、イプシロンロケットプロジェクトマネージャーの森田泰弘氏による JAXA タウンミーティングを行った。

開催期日 平成25年9月28日(土)(式典)
平成25年10月18日(金)～20日(日)イベント
入場者数 子ども 71人 大人 387人 延べ 458人

⑩宮崎で見られる身近な植物展(新規)

宮崎県総合博物館から写真パネルを借用し、展示した。主に里山で見られる植物を中心に32種類の写真をキャプションと共に展示し、季節ごとに並べた。

開催期日 平成25年10月5日(土)～10月12日(土)
入場者数 子ども254人 大人182人 延べ 436人

⑪ソユーズ宇宙船打ち上げパブリックビューイング

国際宇宙ステーション第39期次中期滞在クルーの若田宇宙飛行士を乗せたソユーズ宇宙船の打ち上げライブ中継を開催した。宇宙研究の一つである“ロケット発射”の仕組みを学び、宇宙に興味を持つ契機となるよう努めた。

開催期日 平成25年11月7日(木)
参加者数 子ども29人 大人87人 116人

⑫サイエンスカフェ・サイエンスバー

各種イベントと関連のある科学者を招き、その開催時期に合わせて、サイエンスカフェ・サイエンスバーを実施した。科学者と市民を結ぶ仲介役としての科学技術館の活動であり、科学の普及・啓発に努めた。

開催期日 平成25年5月・7月・8月・9月(カフェ)
平成25年7月・8月・11月(バー)
参加者数 子ども15人 大人144人 延べ 159人

⑬プラネタリウム寄席(新規)

桂歌春(落語)、マグナム小林(バイオリン漫談)、プラネタリウム番組「星灯りのコンサート」放映の3部構成で実施した。落語の中に、星空の映像を効果的に取り入れるなどの演出もあり、プラネタリウムホールの活用の幅を広げる良い機会となった。

開催期日 平成26年2月2日(日)
入場者数 子ども18人 大人198人 216人

⑭ロンドンからくり博物館(新規)

からくり作品を単に鑑賞するだけでなく、専用コインを使ってからくり作品を動かしたり、その動く仕組みを間近に見せながら解説をしたりすることで、大人から子どもまで楽しめる作品展となるよう努めた。

開催期日 平成26年2月8日(土)～2月23日(日)
入場者数 子ども2,171人 大人1,200人 延べ 3,371人

(2) 共催事業 ※ () は主催者名

①航空教室 (航空大学校)	実施日 平成25年7月20日(土) 平成26年1月25日(土)	入場者数 子ども 68人 大人 57人 延べ 125人
②宮城県山元町 絵画展 (宮崎市)	実施日 平成25年8月12日(月)～21日(水)	入場者数 子ども597人 大人481人 延べ1,078人
③宮崎ミニ水族館 (宮崎大学農学部)	実施日 平成25年9月26日(木)～29日(日)	入場者数 子ども519人 大人607人 延べ1,126人
④県学校発明くふう展 (発明協会宮崎県支部)	実施日 平成25年10月18日(金)～10月20日(日)	入場者数 子ども345人 大人373人 延べ 718人
⑤宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校国語主任部会)	実施日 平成25年10月25日(金)～11月7日(木)	入場者数 子ども295人 大人416人 延べ 711人
⑥科学の甲子園 (学校政策課)	実施日 平成25年11月4日(月)	入場者数 高校生 71人 大人 13人 84人
⑦県特別支援学校アート展 (県特別支援学校校長会)	実施日 平成25年11月27日(水)～12月1日(日)	入場者数 子ども122人 大人274人 延べ 396人
⑧宮崎地区サイエンスコンクール展 (科学夢チャレンジ事業宮崎地区実行委員会)	実施日 平成25年12月7日(土)～12月27日(金)	入場者数 子ども550人 大人329人 延べ 879人
⑨宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校国語主任部会)	実施日 平成26年1月10日(金)～1月21日(火)	入場者数 子ども206人 大人464人 延べ 670人
⑩永瀬正敏俳優生活30周年記念興行「彌勒」公演 (みやざきアートセンター)	実施日 平成26年1月12日(日)、13日(月)	入場者数 子ども 51人 大人474人 延べ 525人
⑪ディスカバリーキッズ科学実験館 (宮崎ケーブルテレビ)	実施日 平成26年3月29日(土)	入場者数 子ども 99人 大人 81人 180人

(3) 宮崎市歴史資料館

みやざき歴史文化館

1 入館者数

- 総入館者数 65,543人 (大人 30,941人 小人 34,602人)
内訳 一般・団体 30,941人 広域圏児童・生徒 34,602人
- 開館日数 311日
- 一日平均利用者数 211人

2 常設展示事業

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話、民具等に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土を理解する場を提供した。

3 企画展示事業

(1) 企画展『平成25年度みやざき歴史文化館収蔵品展』

平成24年度に新たに当館に収蔵された物(弘法大師石像・五月人形・X線カメラ一式・フェロタイプ乾燥機・教科書類など)を展示した。

開催期日 平成25年5月19日(日)～6月23日(日)

利用者数 3,369人

(2) 夏の特別企画展『幽霊・妖怪大集合』

日本の様々な幽霊・妖怪について展示解説を行った。兵庫県立博物館や明石市立文化博物館などからも展示資料を借用し、幽霊と妖怪の歴史、さらには日本人の考え方や思想などが紐解かれるように配慮した。

開催期日 平成25年7月6日(土)～9月1日(日)

利用者数 21,219人

(3) 秋の特別展『宮崎の祭り・伝承展』

宮崎市域における祭礼や伝承の歴史・民俗性を神輿や神楽面などの史・資料を交えながら写真パネルにて展示紹介を行った。展示を通して地域の神事・祭事への参加・見学に誘い、無形の伝統文化継承の啓発を図った。

開催期日 平成25年10月5日(土)～12月1日(日)

利用者数 9,843人

(4) 年中行事『宮崎の正月展』

宮崎県内に伝わる正月の風景、代表的な飾り、伝統行事等を実物、模型、写真パネル等で紹介した。注連縄、餅つき道具、昔の正月のおもちゃ、正月飾りや料理、神社の絵馬、伝統凧などを展示した。

開催期日 平成25年12月14日(土)～平成26年1月13日(月)

利用者数 3,076人

(5) 置県130周年記念 写真展『時の流れ・宮崎の今昔』

平成25年は宮崎県が置かれて130年の節目の年であった。この130年の間に宮崎の風

景は大きく変わっていった。本展では宮崎の昔の写真と現在の風景を比較展示し、宮崎の暮らしや風景の移り変わりを紹介した。

開催期日 平成26年1月19日(日)～2月23日(日)
利用者数 5,857人

(6) 企画展『歴史文化館のひな祭り』

これまでに寄贈されたひな人形を中心に展示しながら、ひな人形の歴史についても解説した。また、吊るし飾りのひとつである「さげもん」の収集展示も行った。

開催期日 平成26年2月2日(日)～3月9日(日)
利用者数 5,359人

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 講座

①宮崎の歴史文化講座

宮崎の歴史・文化について元宮崎大学教授や県総合博物館・県埋蔵文化財センターの各専門職員、歴史研究家の方々を講師として実施した。

実施回数 6回
参加者 延べ 176人

②古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティア会員を講師として、古文書資料【佐土原藩島津家日記】の解読演習を行った。

実施回数 20回(前後期各10回)
参加者 延べ 448人

(2) 史跡探訪会

県内の史跡や建造物等の文化財を訪ね、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、文化財への愛護意識を啓発する目的で実施した。

【1回目】神話ゆかりの地を訪ねる～高原町・高崎町方面～

開催期日 平成25年 9月15日(日)
見学地 霧島東神社・狭野神社・皇子原神社・東霧島神社
講師 みやざき歴史文化館学芸員
参加者 25人

【2回目】神話ゆかりの地を訪ねる～高原町・高崎町方面～

開催期日 平成25年10月20日(日)
見学地 霧島東神社・狭野神社・皇子原神社・東霧島神社
講師 みやざき歴史文化館学芸員
参加者 11人

【3回目】市内神社巡り

開催期日 平成25年11月 9日(土)
見学地 浮城正光寺網掛地蔵・一葉稻荷神社・青島神社・野島神社・

恒久 城ヶ崎・八手神社
講 師 みやざき歴史文化館学芸員
参 加 者 20人

【4回目】市内神社巡り

開催期日 平成26年 1月26日(日)
見 学 地 浮城正光寺網掛地藏・一葉稻荷神社・青島神社・野島神社・
恒久 城ヶ崎・八手神社
講 師 みやざき歴史文化館学芸員
参 加 者 20人

【5回目】清武～北郷～飢肥の神社・史跡めぐり

開催期日 平成26年 3月 2日(日)
見 学 地 稲津掃部助墓・船引神社・清武の大クス・潮嶽神社・五百禊神社・
伊東家累代墓地・平部嶺南墓・小村寿太郎墓
講 師 みやざき歴史文化館学芸員
参 加 者 22人

(3) 体験学習

昔から行われてきた農作物の栽培・収穫等の農耕体験学習や昔の人々の暮らしと関連した、「竹を使ったおもちゃ作り」等の製作体験学習を行うもので、子どもと一般の参加者を対象に実施した。

農耕体験学習	回 数	4回
	参 加 者	延べ 122人
製作体験学習	実施回数	19回
	参 加 者	延べ 555人

(4) 学校教育との連携

学校教育において体験学習が重視される中で、当館でも学校教育への支援活動を行った。主なものは、隣接する住吉南小学校「歴史文化体験クラブ」が当館を利用しての体験学習(全10回)や、教育委員会の助成制度等を利用しての当館見学(20校)があった。見学の際は「昔の道具」「厩屋」「古代住居」などの展示説明や石臼体験などの「体験学習」も行った。

5 イベント事業

(1) 「こどもの日」イベント

鎧・兜の試着、紙兜作り、ストロー細工、まが玉作り、竹とんぼ・鶯笛作り、史跡公園ウォークラリー、四半的弓道体験、野点ほか多数のイベントを実施した。

開催期日 平成25年5月3日(金)～5月6日(月)
利用者数 3,695人

(2) 夏休みイベント

① 「史跡公園 生き物採集教室」

開催期日 平成25年8月4日(日)
内 容 蓮ヶ池史跡公園をめぐりながら、昆虫などの生き物を採集

参加者 29人

② 「魚のつかみ取り」

開催期日 平成25年8月10日（土）

内 容 館の前にプールを設置し、アユのつかみ取りを実施

参加者 155人

③ 「夏休みの楽しい工作」

開催期日 平成25年8月11日（日）

内 容 輪ゴムの動力で回るおばけのおもちゃを制作

参加者 66人

6 資料収集、調査・研究

- ・資料収集について公共施設を中心に情報提供を呼びかける広報を行い、市民より歴史・民俗資料155点の寄贈があった。
- ・秋の特別展「宮崎の祭り・伝承展」開催のため、昨年度に引き続き宮崎市近郊の祭り・神楽等についての映像資料収集を行った。
- ・歴史3館合同で資料管理について検討を行い、協会研究紀要に報告を掲載した。

宮崎市佐土原歴史資料館

1 入館者数

- 総入館者数 24,282人（大人 17,823人 小人 6,459人）
内訳 一般・団体 20,981人 広域圏児童・生徒 3,301人
- 開館日数 308日
- 一日平均利用者数 79人

2 常設展示事業

〔鶴松館〕佐土原城二の丸居館の一部をほぼ復元した「鶴松館」では、掛け軸・屏風・鎧兜など佐土原島津家の調度品を展示するとともに、地元で伝わる佐土原人形を展示している。

〔佐土原出土文化財管理センター〕展示研究室では農具・民具・民俗資料などの展示を、展示室に於いては企画展を開催している。屋外展示では、出土遺構をもとに、佐土原藩の「御普請所」建物の基礎部分を復元している。この遺構を土中に保存し、現在は佐土原町域の文化財・歴史史料の収蔵・保存をしている。

〔商家資料館 旧阪本家〕味噌や醤油の製造販売を手がけていた商家資料館「旧阪本家」では、1階に机や銭箱などを配した帳場などの様子を、2階に当時の商いに関する資料などを展示している。

3 企画展示事業

(1) 企画展「節句人形展」

子どもたちの健やかな成長を願い、商家資料館に端午の節句人形（佐土原人形）と紙で作られた昔の「鯉のぼり」を展示した。

開催期日 平成25年4月27日（土）～5月19日（日）

入場者数 265人

(2) 企画展「収蔵品展・アカウミガメ展」

当館所蔵品の展示とアカウミガメのパネル写真展を実施した。展示品の中では、佐土原島津家の唐獅子金屏風や昔の商家の看板、旧佐土原の町並みのパネル写真など関心を呼んだ。

開催期日 平成25年6月1日(土)～9月2日(月)

入場者数 1,593人

(3) 企画展「広瀬転城物語」

明治期にあった佐土原城から広瀬城へと転城する計画について、絵図面や地図を展示するとともに転城先であった現広瀬小・中学校、及び城につながる運河跡、そして旧島津藩主邸跡と城門等をパネル写真で紹介した。

開催期日 平成25年10月26日(土)～平成26年2月23日(日)

入場者数 2,295人

(4) 企画展「ひな人形展」

子ども達の健やかな成長を願い、佐土原人形によるひな人形を商家資料館に展示した。

開催期日 平成26年2月8日(土)～3月16日(日)

入場者数 1,038人

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 講座

① 歴史文化講座「郷土を学ぶ」

主に佐土原の歴史事象や歴史上の人物、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を実施した。

実施回数 5回

参加者 延べ145人

② 古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティア会員を講師に、江戸期に制度化された隣保組織に関わる掟を記した「御仕置き五人組帳」の解説を実施した。

実施回数 8回

参加者 延べ109人

③ 体験学習

佐土原城跡の自然環境を活用し、昔の人々のくらしと文化、伝統的工芸に関連した製作体験学習を実施した。

実施回数 6回

参加者 延べ86人

④ 史跡探訪会・文化財探訪バスツアー

佐土原町内と近郊の史跡や文化財を訪ね、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、郷土愛を育み文化財愛護の意識を高める目的で、鶴松館ガイドの会の協力のもと実施した。

【第1回】

開催期日 平成25年9月8日(日)

講 師 元佐土原歴史資料館指導員
見学地 古月禅師生誕地・阿佐加利神社・大炊田茶屋跡・福島港跡・運河跡・
16烈士墓碑
参加人数 17人

【第2回】

開催期日 平成25年10月6日(日)
講 師 元佐土原歴史資料館指導員
見学地 大光寺・高月院・天昌寺跡
参加人数 14人

【第3回】

開催期日 平成25年11月10日(日)
講 師 元佐土原歴史資料館指導員
見学地 川原田遺跡・岩崎稻荷神社・石野田城跡・都於郡城跡
参加人数 13人

【第4回】文化財探訪バスツアー

開催期日 平成25年11月24日(日)
案 内 日向市観光ボランティア「平兵衛さんの会」
見学地 日向市歴史民俗資料館・大御神社・細島みなと資料館・黒田の家臣墓碑
参加人数 19人

5 イベント事業

(1) 佐土原花しょうぶ祭り

鶴松館裏庭の花しょうぶ園で、佐土原小学校区地域づくり協議会が主催し、当館の共催により花しょうぶ祭りを実施した。

開催期日 平成25年6月1日(土)～6月2日(日)
参加人数 2,671人
内 容 鶴松館内でギターと尺八の演奏、箏の演奏、野点、軽トラ市 他

(2) 鶴松館開館20周年記念事業

佐土原歴史資料館「鶴松館」が平成5年6月に開館してから20周年を迎えることとなり、記念式典と記念講演を実施した。

開催期日 平成25年6月9日(日)
参加人数 187人
内 容 式典 「3団体と1個人に感謝状贈呈」
講演 演題：島津家久と豊久 講師：山元 泰生 氏

(3) 島津入城410年記念事業

垂水より初代佐土原藩主として、「島津 以久公」が入城してから410年を迎えるに当たり、2月8日から11日の日程でこの事業が開催され、11日に当鶴松館に於いて入城イベントや式典等を島津入城410年記念事業実行委員会と共催で実施した。

開催期日 平成26年2月11日(火)
参加人数 3,208人
内 容 式典・アトラクション「子供によるダンスや踊り・巨田神楽・島津太鼓・四半的弓道・高校生の楽器演奏など」、また、軽トラ市や出店もあり、最後に花火を上げ終了した。

(4) 神代ごま回し大会

島津佐土原藩で作られていた竹製のこまで、端午の節句祝い用として伝えられてきたものであり正月行事としてそのコマを使った「こま回し大会」を開催した。

開催期日 平成26年1月4日(土)
参加人数 32人
内 容 児童の部と一般の部に分け、こまが回っている時間を競うものである。

(5) 佐土原人形作り

江戸期から作られている佐土原人形を伝えていくことを目的に「佐土原人形伝承会」と共催で人形作りを実施した。

開催期日 平成25年5月から11月までの毎月第2木曜日
参加人数 18人
内 容 饅頭喰い人形や平成26年の干支である「午」を各自1体ずつ作った。

(6) 古地図探検隊

宮崎市文化財課の主催事業で、当鶴松館をメインとして実施した。

開催期日 平成26年2月22日(土)
参加人数 90人
内 容 佐土原城下図を使い現在の地図と見比べながら4か所の文化財や史跡等を4班に分かれて巡った。

6 資料収集、調査・研究

- (1) 市民より歴史民俗資料を中心に1,053点の寄贈があった。
- (2) 佐土原町近郊の史跡調査
- (3) 佐土原工芸(佐土原人形、神代独楽、久峰うずら車)の調査

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

1 入館者数

- 総入館者数 18,724人 (大人 11,285人 小人 7,439人)
内訳 一般・団体 16,353人 広域圏児童・生徒 2,371人
- 開館日数 308日
- 一日平均利用者数 61人

2 常設展示事業

旧高岡町域の考古・歴史、民俗・民俗芸能、民話、民具等に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土愛を培う場を提供した。

3 企画展示事業

平成25年3月9日（土）～5月6日（月）は年度をまたぎ、「石油発動機展」を開催した。

期間内入館者数 8,011人（平成24年度 5,035人・平成25年度 2,976人）

（1）企画展「天ヶ城蔵出展」

開催期日 平成25年5月25日（土）～7月7日（日）

入館者数 934人

内 容 高岡ゆかりの偉人である高木兼寛^{かねひろ}関連資料のほか近年、当館に寄贈されたテレビ、タイプライター、雑誌等の資料を中心に展示した。

（2）企画展「高岡言葉つづり」

開催期日 平成25年7月27日（土）～9月29日（日）

入館者数 1,660人

内 容 かつて薩摩藩の領地だった影響で、高岡地区で使われている言葉に薩摩らしさが残っていることを野崎哲^{さとし}氏の絵画作品や、民謡「高岡じょっさい」などを通して紹介した。

（3）開館20周年記念企画展「紙は語る—高岡の紙資料たち—」

開催期日 平成25年10月19日（土）～平成25年12月1日（日）

入館者数 2,183人

内 容 開館20周年を記念して、高岡地区に関連する「高岡郷々士系図」や「高岡名勝誌」など貴重な古文書や、行灯や番傘など紙に関する歴史・民俗資料を展示した。

（4）企画展「古い道具と昔の暮らし」

開催期日 平成25年12月14日（土）～平成26年2月15日（土）

期間内入館数 3,787人（但し、授業支援の人数を含む）

内 容 小学校3年生の社会科で取り扱う「変わってきた人びとの暮らし」等の学習に資することを目的として当館所蔵の古民具や写真等を展示した。

4 歴史文化振興・教育普及事業

（1）古文書講座

松浦祥雄氏を講師に招き、古文書史料「宮崎騒動覚書（上）」の解説を行った。

全8回実施 参加者92人

（2）体験学習

伝統的なおもちゃを中心とした製作体験学習を行うもので、主に宮崎市近郊在住の子どもとその保護者を対象に実施した。

全9回実施 参加者247人

(3) 天ヶ城歴史文化講座①穆佐城跡散策

宮崎や高岡の歴史や文化に親しみ、理解を深める場を市民の皆様へ提供するため、国指定文化財である穆佐城跡の散策を計画したが、今回は、雨天のため中止となった。

開催期日 平成25年10月5日(土)
見学地 穆佐城跡(小山田)
講師 文化財課職員

(4) 天ヶ城歴史文化講座②史跡めぐり

宮崎市内の史跡や資料館を訪ね、歴史・文化に対する理解と関心を深めると共に、文化財愛護意識を高める目的で実施するものである。今回は、旧高岡町域内と町近郊の国富・倉岡の文化財や史跡をめぐるバスツアーを行った。

開催期日 平成26年3月16日(日)
講師 当館学芸員
見学地 去川地区(二見家墓石郡、二見家住宅、大イチョウ) → 柚木崎の田の神様 → 武家住宅 → 国富の石仏 → 倉岡神社 → 谷村計介胸像 → 谷村計介旧宅跡地
参加者 12人

(5) 開館20周年記念事業①講演会

開館20年目の節目にあたり、市民の皆様へ感謝の気持ちを伝え、当館の事業や高岡の歴史・文化について理解を深めてもらう目的として開催した。

開催期日 平成25年10月26日(土)
講師 田代学氏(郷土史家・一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団「介護老人保健施設ひむか苑」管理医師)
会場 高岡地区農村環境改善センター(高岡総合支所)
演題 「高岡の地名由来と歴史」
参加者 31人

(6) 授業支援事業「むかしの道具たち」

資料館に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「昔の暮らし」の学習等の充実に資することを目的として実施した。

対象 宮崎市、綾町、国富町内の小学校
方法 事前に学校へカタログを配布し、申し込みのあった学校に道具を運搬して、当館の管理下で道具の活用を支援した。授業においては、道具の取り扱い方等について十分説明し、学校の要望に応じて道具についての解説を行った。
実施回数 全27回(27校)実施(内9件については、本館にて実施)
参加者 2,242人

5 イベント事業

(1) 開館20周年記念事業②イベント

開催期日 平成25年11月23日(土)
会場 宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

内 容 開館20周年の節目にあたり、市民の皆様に感謝の気持ちを伝え、当館の事業について理解を深めてもらう目的として開催した。野点、神楽の上演、館内クイズラリー、記念カレンダーの配布を行った。

利用者数 132人

6 資料収集、調査・研究

- ・民俗資料を中心とした資料84点の寄贈があった。
- ・協会事業である回想法推進事業のための先進地視察や、回想法に利用する民俗資料の収集を行った。

(4) 大淀川学習館

1 入館者数

- 総入館者数 166,512人 (大人 73,406人、小人 93,106人)
内訳 個人 147,996人 団体広域圏児童・生徒 9,063人
団体広域圏外児童・生徒 1,574人 団体一般 6,547人
- 開館日数 312日
- 一日平均利用者 534人

2 展示事業

(1) 常設展示

大淀川及びその流域の自然、文化、歴史などについて、見て、触れて、体験し、楽しみながら、河川環境に対する学びを深めるため、エントランスホールの「空から見た大淀川流域」の映像及びコンタ模型（地形の模型）、床面地形図のリニューアルを行った。また、常に新鮮な気持ちで見学できるように、定期的に展示物の入替を行った。

(2) 生体展示

① 自然楽習園

自然楽習園では、子どもたちの自然を観察する目を育てるため、園内に小川を再現し、チョウの食草や蜜源植物を育てている。園の内容をより分かりやすく、かつ愛着をもって楽しんでいただくために「チョウのへや」とネーミングした。平成16年度からチョウの飼育業務を外部委託しており、常時100頭以上の個体を維持している。平成25年度の放蝶数は5,375頭に及んだ。

② 生体展示ホール

生体展示を見やすくし、ホールに統一感を出すため、小型水槽壁面の塗り直しを行った。アカメの水槽は、下に敷き詰めていた小石を白色系の砂へと変えて、より観察しやすい環境にした。また、イシガメとクサガメの水槽もホール奥に設置した。大型水槽横には、ハイビジョンテレビを設置し、生体説明に使用した。

③ ホタル展示室

ホタルの羽化率及び観察環境の向上の為、飼育水槽をホタルビオトープとしてリニューアルした。ホタルの一生を説明したパネルも設置した。また、水生昆虫を展示している部分の壁面に、田んぼや川の風景写真を設置し、より生育環境がわかる工夫を行った。

(3) 企画展示

① 特別企画展「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」

内 容 生物との触れ合いを通して生命の素晴らしさに気づかせるとともに、在来種と外来種について正しい知識を持たせ、大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てるために、アメリカザリガニを多数展示し、タッチプールで触れたり、ザリガニ釣りを体験したりする活動を行った。

開催期日 平成25年4月13日（土）～平成25年6月16日（日）

入場者数 33,905人

② 特別企画展「カブトムシ・クワガタムシ展」

内 容 大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシの生態や生息環境についての理解を深め、昆虫への興味・関心を高めるために、カブトムシを自然に近い状態で放し飼いにするとともに、夜間の活動のようすを観察することができるように遮光できるコーナーをつくり展示した。

開催期日 平成25年7月6日（土）～平成25年9月1日（日）

入場者数 53,717人

③ 企画展「水の生き物と仲良くなろう！ドクターフィッシュ体験」

内 容 様々な水の生き物の一つとして、人の角質を食べてくれる珍しい魚「ドクターフィッシュ」を多数用意し、設置したプールでの体験活動を行った。

開催期日 平成25年9月7日（土）～平成25年10月6日（日）

入場者数 15,541人

④ 企画展「ミクロの世界の探検展」

内 容 生物への興味・関心を高めるため、身近な動植物をマクロ撮影し、色や形をわかりやすく伝えるとともに、肉眼では見ることができない微細なつくりがわかる展示を行った。

開催期日 平成25年10月11日（金）～平成25年11月10日（日）

入場者数 11,008人

⑤ 企画展「カラー魚拓への誘い」

内 容 カラー魚拓の展示を通して魚の形や色、模様などの特徴を捉え、魚類への興味・関心を高めるために、地元の愛好家たちの作品を展示した。

開催期日 平成25年12月1日（日）～平成26年1月13日（月）

入場者数 8,932人

⑥ 企画展「幸せかもん！カメカメ展」

内 容 新年を迎えるにあたって、古来より縁起の良い生き物とされるカメを展示した。

また、運玉コーナーや餌やりイベントも併せて開催した。

開催期日 平成26年1月5日（日）～平成26年2月2日（日）

入場者数 4,555人

⑦ 企画展「宮崎県産材で積み木遊びをしよう！」

内 容 宮崎県産材で作製した「からから積み木」を大量に準備し、自由な発想のもと作品を制作し、完成品と一緒に写真撮影をする。宮崎県森林林業協会と連携し実施した。

開催期日 平成26年1月19日（日）～平成26年3月30日（日）

入場者数 24,580人

⑧ 企画展「春一番！ひな山」

内 容 大淀川流域の民俗文化への興味・関心を高めるために、大淀川清流域の綾町で育まれた「ひな山」をエントランスホールに展示した。

開催期日 平成26年2月8日（土）～平成26年3月9日（日）

入場者数 12,342人

(4) 作品募集と展示

① 第13回大淀川流域の写真展

内 容 流域の自然の姿への関心を高め、自然を大切にする心を育てるために、大淀川流域の動植物・風景等の写真を募集・展示した。

応募数 272点

開催期日 平成25年9月14日（土）～平成25年10月6日（日）

入場者数 13,085人

② 第19回大淀川流域の動植物画コンクール入賞作品展

内 容 大淀川流域の動植物に対する関心を高めるとともに、動植物を観察する力を育てるために、大淀川流域に生息・生育する動植物の精密画を募集・展示した。

応募数 2,591点

開催期日 平成25年10月13日（日）～平成25年11月24日（日）

入場者数 14,449人

③ 大淀川の歴史文化パネル展

内 容 宮崎市の発展と大淀川との関わりについて、人や物の移動と橋に焦点を当てたパネルを展示した。

開催期日 平成25年12月1日（日）～平成26年1月31日（金）（62日間）

入場者数 13,110人

④ 第9回小・中学校川の学習展

内 容 大淀川流域の環境に対する関心を高めるため、小・中学校で行われている総合的な学習の時間でまとめた、河川に関する実態等の学習成果を募集・展示した。

応募数 6点

開催期日 平成26年2月9日(日)～平成26年3月9日(日)(29日間)
入場者数 11,768人

(5) 川のシアター

内 容 大淀川の自然や環境への興味・関心を高めるため、4本の番組(A大淀川の自然を訪ねて、B大淀川の水と生き物たち、C大淀川の生い立ちと生き物、D母なる川～大淀川～)をオリジナルの立体ハイビジョンにて上映した。

① 定常上映

一日6回、定時に上映した。

② 特別上映

団体上映 団体の来館時間に応じ、また、都合がつく限り番組も調整し上映した。

特別上映 繁忙期など、来館者が多い場合には、臨時上映を行った。

(6) 里山の楽校

里山の復元をめざし、大淀川学習館の屋外施設として平成15年に新設された。多目的施設「杉の家」、展望施設、地層観察コーナー、野草コーナーなどが設置され、動植物の観察、地層観察など、保育園や幼稚園の園児、小学校の児童を中心に活用された。現在は、敷地にかかる部分で下北方浄水場の造成工事が行われており、今後について関係機関と協議を進めている。

3 学校対応事業

学校、保育所等の教育、保育課程に沿った支援活動を行うことによって、教育効果を高めることを目的として実施した。

(1) 授業支援

対 象 小中学校等

回 数 9回

参加者数 延べ 668人

内 容 チョウの生態観察、里山の植物・地層観察等を行った。

(2) 指導者支援

対 象 小中学校教諭等

回 数 3回

参加者数 延べ 79人

内 容 チョウ・メダカの生態観察・飼育方法の説明や、宮崎層群の成り立ちに関する説明を行った。

(3) こども会・PTA支援

対 象 こども会やPTA関係者

回 数 5回

参加者数 延べ 345人

内 容 展示説明、簡単な工作活動を行った。

4 教室事業

自然に対する興味・関心を高めるとともに、環境に対する理解を深めることを目的として行った。

(1) 環境教室

対 象	小学生以上
回 数	8回
参加者数	延べ 173人
内 容	「川の生き物で水質調べ」「伝統のホタルかご作り」「ホタル環境教室」「浄水場見学で自由研究」「大淀川の水を調べよう」「牛乳パックで年賀はがき作り」「野鳥の巣箱作り」「ペットボトルで工作」を行った。

(2) 観察教室

対 象	小学生以上
回 数	9回 (内1回中止)
参加者数	延べ 209人
内 容	「食べられる野草さがし」「ミツバチ教室」「メダカの飼育観察」「カブトムシ・クワガタムシの飼育教室」「植物採集で自由研究」「バスで巡る大淀川源流と宮崎の名所・地層」「まつぼっくりでクリスマスツリー作り」「冬鳥ウォッチング」を行った。

(3) 体験教室

対 象	小学生以上
回 数	10回
参加者数	延べ 261人
内 容	「アユの稚魚放流体験」「大淀川釣り教室」「水辺の楽校で昆虫とふれ合おう」「昆虫標本作りにチャレンジ」「石の工作」「貝殻の工作」「カヌーにチャレンジ」「ミツロウキヤンドル作り」「カラー魚拓に挑戦しよう」「シイタケの駒打ち」を行った。

(4) 園児教室

対 象	幼稚園や保育所等の園児
回 数	31回
参加者数	延べ 1,229人
内 容	カブトムシ等の生態の説明と簡単な工作を行った。

5 イベント事業

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境問題に対する関心を高めることを目的として行った。

(1) 季節のイベント

対 象	制限なし
回 数	16回
参加者数	延べ 1,744人
内 容	「グリーンアドベンチャー」「ミニつり大会、ザリガニ釣りイベント(2回)」「カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会」「魚つかみに挑戦!(2回)」「カブトムシ・クワガタムシのすもう大会」「小魚すくい」「大淀川ウォークラリー」「フリスビー大会 in 水辺の楽校」「もちつきイベント」「昆虫輪投げ大会」「夕涼みコンサートと昆虫観察会」「金

魚すくいに挑戦」「大淀川学習館検定」を行った。

(2) ふれあいウィークエンド

対 象 制限なし(小学生未満は保護者同伴)

回 数 24回

参加者数 延べ 805人

内 容 「ミニ鯉のぼりを作ろう」「七夕飾りを作ろう」「お正月飾りを作ろう」「発泡スチロールで昆虫マグネットを作ろう(3回)」「季節の花で押し花かざりを作ろう」「植物でウェルカムボードを作ろう」「ハイドロカルチャーにチャレンジ」「紙コップを使って遊ぼう(2回)」「木の実でコマを作ろう(3回)」「バランストンボを作ろう(2回)」「タネ模型を飛ばそう(2回)」「針金アメンボを浮かせよう(3回)」「葉っぱで遊ぼう(3回)」を行った。

6 その他の事業

(1) 学校教育との連携

小中学校施設学習支援事業や学校教育における生活科、理科、総合的な学習の時間における環境学習等、年々学校のニーズの高まる中、ハード・ソフトの両面から学校教育の支援を図るとともに、各種研修の対応についても内容の充実を図った。

来館学校

小学校	73団体	延べ来館者	5,332人
中学校	3団体	延べ来館者	345人
特別支援学校他	4団体	延べ来館者	124人
<u>幼稚園等</u>	<u>209団体</u>	<u>延べ来館者</u>	<u>6,120人</u>
合計	289団体	延べ来館者	11,921人

(2) 各種関係団体等との連携

開館当初からの関係団体である宮崎自然愛好会やホテル保存会をはじめ、宮崎内水面漁業協同組合、宮崎市カヌー協会、日本野鳥の会、元当館職員など多くの関係団体より協力を受け、連携しながら各教室などを行っている。今後も、動植物等に高い見識を有する人材との連携強化に努め、充実したサービスが提供できるようにする。

(3) 情報提供と広報活動

ICT(情報通信技術)を積極的に活用し、SNS(ブログ、フェイスブック)を用いた情報提供や広報活動を行ってきた。今後もより一層の拡充を図っていく。

(5) 宮崎市民プラザ

1 利用実績

(H25.4.1～H26.3.31)

区 分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		開館日	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26
ホール	貸館可	22	24	21	23	24	21	24	24	19	19	18	21	260
	使用日	12	11	18	21	22	14	17	22	18	16	17	15	203
	利用率	55	46	86	91	92	67	71	92	95	84	94	71	78.08
	入場者	3,025	2,920	5,267	7,589	8,896	4,730	5,896	6,850	5,736	5,285	5,071	3,808	65,07
ギャラリー	貸館可	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307
	使用日	22	21	26	25	26	22	26	26	24	23	24	24	289
	利用率	88	78	100	96	96	88	96	100	100	96	100	92	94.14
	入場者	2,842	3,397	3,091	5,316	3,418	2,683	4,165	4,458	3,249	4,991	4,936	3,626	46,17
練習室①	利用率	80	89	85	96	85	80	78	100	67	92	83	92	85.67
	入場者	1,084	1,867	1,253	1,588	1,488	1,186	1,577	1,516	621	1,564	1,194	1,413	16,35
練習室②	利用率	96	100	100	96	96	96	89	100	88	96	88	96	95.11
	入場者	535	576	575	542	422	421	432	558	273	472	487	471	5,764
大会議室	利用率	88	85	92	100	100	96	93	92	88	92	92	92	92.53
	入場者	1,457	1,567	1,517	1,448	1,537	1,280	1,596	1,519	1,377	1,785	1,589	1,590	18,26
中会議室	利用率	96	85	100	96	93	92	100	96	96	92	92	100	94.79
	入場者	922	988	933	1,045	794	996	986	798	1,096	831	834	957	11,18
小会議室 ①	利用率	96	93	100	100	96	88	100	96	92	100	96	100	96.42
	入場者	526	587	619	626	489	457	628	518	442	484	527	470	6,373
小会議室 ②	利用率	92	85	100	100	85	88	96	96	88	96	100	85	92.51
	入場者	439	339	481	531	408	455	537	480	415	430	462	395	5,372
和室	利用率	88	85	92	92	85	80	85	96	83	96	96	88	88.93
	入場者	372	487	349	468	411	349	427	495	595	535	777	395	5,660
学習室	利用率	60	67	92	88	81	76	85	88	63	79	100	88	80.78
	入場者	249	339	392	413	349	328	456	512	270	369	762	549	4,988
プレイルーム	入場者	36	46	19	41	36	22	49	109	9	16	53	49	485
カフェレイン	入場者	666	685	815	954	880	567	626	607	472	474	554	569	7,869
活動センター	入場者	3,104	2,839	2,879	3,207	3,051	3,247	3,342	2,742	2,713	2,857	4,732	2,930	37,64
団体室	入場者	548	535	498	520	420	358	485	418	482	475	543	477	5,759
ホール	打合せ	41	28	41	44	32	49	46	47	38	42	33	32	473
ギャラリー	打合せ	18	16	8	17	13	13	16	7	1	5	5	6	125
利用者数(人)		15,86	17,21	18,73	24,34	22,64	17,14	21,26	21,63	17,78	20,61	22,55	17,73	237,5
窓口受付		656	589	635	673	651	500	591	716	538	607	651	683	7,490
視察者等(人数)		4	17	3	23	7	10	5	4	16	8	3	5	105
視察者等(団体数)		3	6	2	7	2	4	2	2	6	5	3	3	45
総利用者数		245,144 人												

2 催事別比較

年度／期間	平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月)				平成25年度 (平成25年4月～平成26年3月)			
	ホール		ギャラリー		ホール		ギャラリー	
催物	利用件数	入場人員	利用件数	入場人員	利用件数	入場人員	利用件数	入場人員
クラシック	40	12,145	0	0	56	12,656	0	0
軽音楽	16	4,905	0	0	9	2,498	0	0
古典芸能・邦楽等	6	2,110	1	79	7	2,720	2	134
日舞	1	150	0	0	3	430	0	0
洋舞	10	7,130	0	0	14	8,190	0	0
演劇	5	1,740	0	0	0	0	1	25
映画会	7	4,170	0	0	6	1,900	3	230
会議・研修会	55	15,585	156	15,579	66	19,002	227	19,009
美術展作品展等	0	0	87	12,586	0	0	81	13,815
その他	103	16,434	168	12,394	83	17,677	143	12,959
合計	243	64,369	412	40,638	244	65,073	457	46,172

3 自主事業実績報告

(1) 自主事業企画推進委員会

第1回 平成26年3月25日(火) 宮崎市民プラザ 大楽屋

- (1) 宮崎市民プラザ指定管理者の選定結果について
- (2) 平成25年度宮崎市民プラザ自主事業の実施状況について
- (3) 平成26年度宮崎市民プラザ自主事業の事業計画について

(2) 自主事業実績

	事業名	開催日・場所等	入場料	入場者数
1	市民プラザコンサート ～宮崎ビッグバンドフェスティバル～	平成25年8月25日(日) オルブライトホール	入場券／500円 (当日600円)	428人

2	市民プラザ寄席 歌春・昇太二人会	平成25年9月12日(木) 桂歌春の落語教室(アウトリーチ) 穆佐小学校 生日台東小学校	無料	18人 63人
		平成25年9月29日(日) 歌春・昇太二人会 オルブライトホール	一般/2,000円 (当日2,400円) 高校生以下/1,000円 (当日1,200円)	478人
3	宮崎・音のスケッチブック ～秋のヒーリングコンサート～	平成25年10月20日(日) 橘公園噴水広場	無料	520人 (延べ)
4	第12回 みやざきザハール・ブロン 音楽祭	平成25年12月17日(火) 小中学生のための演奏会 オルブライトホール	無料	1,077人
		平成25年12月18日(水) アウトリーチ 高岡小学校 赤江まつばら支援学校	無料	346人 40人
		平成25年12月19日(木) アウトリーチ 大塚小学校		760人
4	第12回 みやざきザハール・ブロン 音楽祭	平成25年12月18日(水) ヴァイオリンセミナー オルブライトホール		72人 (延べ)
		平成25年12月19日(木) ヴァイオリンセミナー オルブライトホール	一般/1,000円 ※大学生以下無料	81人 (延べ)
		平成25年12月20日(金) ヴァイオリンセミナー オルブライトホール		66人 (延べ)
		平成25年12月21日(土) ヴァイオリンセミナー 受講生コンサート オルブライトホール	無料	72人

		平成25年12月21日(土) ファイナル・コンサート オルブライトホール	指定席/4,000円 (当日4,800円) 自由席一般/3,000円 (当日3,600円) 自由席学生/1,000円 (当日1,200円)	515人
5	未就学児のための音楽会 ～読み聞かせとクラシックコンサート～	平成26年2月23日(日) オルブライトホール	入場券/500円 (当日600円) ※未就学児無料	565人
6	茂木健一郎 文化講演会	平成26年3月9日(日) オルブライトホール	一般/1,000円 (当日1,200円) 高校生以下/500円 (当日600円)	492人
7	子どものための 文化芸術体験プログラム (アウトリーチ事業)	平成25年9月3日(火) ヒップホップダンス 西池小学校	無料	35人
		平成25年10月10日(木) ハーブアンサンブル 八代小学校	無料	35人
		平成25年11月8日(金) 日本舞踊 広瀬北小学校	無料	97人
		平成25年11月27日(水) 読み聞かせとクラシックコンサート 大淀幼稚園	無料	112人
入場者数 合計				5,872人